

令和5年1月栄町教育委員会会議定例会議事録

期日 令和5年1月25日(水) 開会:午後2時00分 閉会:午後2時46分

会場 栄町役場2階第4会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	藤 ヶ 崎 功
委 員(教育長職務代理者)	中 島 宣 行
委 員	大 久 保 雅 從
委 員	石 川 京 子
委 員	濱 田 香 奈

欠席委員 な し

説明のため出席した職員

教育総務課長	磯 岡 和 之
学校教育課長	鳥 羽 英 之
生涯学習課長	稲 葉 彰 司
学校給食センター施設長	由 井 茂

職務のため出席した職員

教育総務課長補佐(書記、議事録) 大 木 正 義

傍聴人: 1人

1 教育長開会宣言

2 議事の進行

中島 宣行委員(教育長職務代理者)

3 署名委員の指名

石川 京子委員

4 会期

本日1日限り

令和5年 1月「教育委員の活動報告」

月	日	曜	場所	活動名	内 容
12	22	木	千葉市	要望	教育22団体による千葉県知事あての要望書を他団体とともに、熊谷知事へ提出してきました。
	28	水	庁議室	朝礼	年末にあたり、町長から訓示がありました。
1	4	水	庁議室	朝礼	年頭にあたり、町長から訓示がありました。
	5	木	県庁・県教委	挨拶	町長、関係課長とともに、年頭のご挨拶に出向きました。帰りは、印旛合同庁舎にて北総教育事務所、そして日本食研を回りました。
	8	日	ふれプラ	式典	未来の栄町を担う若者を祝う成人式を開催しました。
			印西斎場	お通夜	副町長のご尊父のお通夜に参列しました。
	10	火	役場	会議	校長会議を開催しました。
	11	水	合同庁舎	会議	印旛地区教育委員会連絡協議会、教育長会議に参加しました。
	12	木	役場	会議	教頭会議を開催しました。
	13	金	千葉市	会議	千葉県・千葉市教員等育成協議会にオンラインにて参加しました。
	16	月	正徳寺	お通夜	元生涯学習課職員の義母のお通夜に参列しました。
	18	水	役場	会議	後期基本計画にかかる会議に参加しました。
			役場	会議	委員会内課長会議を開催しました。
			教育長室	来客	印旛郡市文化財センター常務理事が来庁されました。
	19	木	役場	会議	給食センター建設に関する会議に参加しました。
	20	金	役場	献血	町ライオンズクラブへの感謝を込めて献血しました。
	21	土	水と緑の運動公園	視察	ドラム自然楽校の閉校式に参加しました。
23	月	教育長室	来客	市民みゅーじかる代表が来庁されました。	
25	水	役場	定例会	教育委員会会議定例会を開催します。(報告2件)	

5 教育委員の活動報告

藤ヶ崎教育長：

それでは、前回の定例会後の活動について、ご報告いたします。

12月22日、県教育会館に教育関連22団体が集まり、その後県庁の大会議室にて、熊谷知事に要望書を手交しました。

私自身、平成22年度、23年度には、県教委側担当として、平成29年度には、小学校長会として参加してきたのですが、いずれの時も、国から出向された教育担当の副知事さんによるご対応でした。今回、久しぶりに参加したところ、熊谷知事ご本人が直接ご対応くださり、教育への思い入れを感じた次第です。

28日、栄中の校長先生、教頭先生が来庁され、ご挨拶をいただきました。その際、平成26年4月に私と一緒に安食小に入学したやんちゃ坊主の男の子が、今は中学3年生となり、気にかけていた子がいました。その子本人から校長先生に「英語を教えて」と要望があったため「10時から補習をする」とのことでした。そこで、差し入れを持って学校を訪ねたところ、ある高校の過去問に挑戦し、校長先生から英語のご指導を受けていました。

5日、町長、関係課長とともに、知事、関係部局、県教委、北総教育事務所、日本食研へ出向きまして、年頭の挨拶をしてまいりました。

そして、8日の成人式には、ご多用の中、委員の皆様、ご参列いただきまして、ありがとうございました。終了後、来賓から「多くの成人式に数多く参列してきたが、こんなに人の話をよく聞いてくれる成人式は初めてだ」とお褒めのお言葉を賜りましたことをご紹介します。これもひとえに、栄中学校でのご指導の成果かなと考えます。そのうえで、柏木指導主事の恩師挨拶が上手で参加者を引き込ませる内容だったためと感心したところでもあります。

なお、岡本議員からは「成人式」という名称が引き続き使われていることについてどうなのかと、お話がありました。全国的には「二十歳の集い」が多いようですが、個人的には儀式の意味を重視して、18歳を通り越して、一度だけ、町で式典を行う「栄町成人式」のままで違和感はないのですが「栄町成人式」プラス、サブテーマとして「二十歳の集い」などでもよいのかなと考えたところです。全国を見渡すと、18歳、19歳、20歳と3学年分開催したところが3自治体あるようで、翌年からは、18歳で挙げるようです。その場合、この時期での大学受験との兼ね合いが問題になってしまうのかな、という気もいたします。

千葉県内は、栄町同様に20歳で実施が全54市町村、全国的にもほとんどの自治体で20歳開催のようでした。

続きまして、11日、印教連常任委員会に参加してまいりました。次年度の行事計画案として、北総教育事務所の行事調整会議に提出するもので、総会が4月18日火曜日15時半から、成田駅近くのいつものホテルで計画しているとのことですので、よろしく願いいたします。

13日、千葉県・千葉市教員等育成協議会に参加しました。折からの感染者増となる第8波の中、オンライン開催となったところです。

17日、読売新聞にて「図書購入費 県内でも差」「本紙調査 栄町『ICT環境整備優先』」という記事が掲載されました。これについては、後程、関係課長からご説明いたします。

18日、栄町の後期基本計画にかかる会議に参加しました。午後は、委員会内の課長会議を開催しました。

21日、水と緑の運動広場にて、ドラム自然楽校の凧揚げ大会が開催されました。朝方の強風とも言えるつくば風がやみ、適度な北風の中、子供たちは上手に凧揚げに興じていました。引き続き、閉校式で、金子崇委員長から修了書を授与しました。私からは、青少年相談員並びに社会教育委員の皆様にご挨拶を述べてきました。

23日、さかえ市民みゅーじかるの会代表の宇田さん、井上さん、大竹さんが来庁され、発足10年の記念誌をお届けいただきました。今年は医師になられた子役出身者も出てきたようです。因みに、東京学芸大附属大泉小学校では、平成10年の総合的な学習の時間が学習指導要領にて採用される前から、6年生では卒業オペラとして一年間かけて活動しており今でも続いています。栄町の中では、総合的な学習の時間をオペラやミュージカルとして使っている学校はありませんので、多くの子供たちが市民みゅーじかるの会に参加し、夢の一つに加えてもらえればと思います、応援していきたいと考えます。

最後になりますが、新型コロナにつきましては、先週、千葉日報で「14日のクラスターは県内13件。栄町の高齢者施設で31人」と掲載されました。そのため、先週一週間、児童生徒への感染増を懸念していたところですが、一週間で5人感染ということで、学校への影響は見られませんでした。

次に、前述した13日の県教委主催の会議がオンライン開催であったことと、また2月2日開催予定の「県教委・働き方改革拡大会議」も、教職員課の元同僚に尋ねたところ、書面開催とする予定であることが伝わってきております。県教委も感染対策を万全にしているようです。

一昨日には、千葉市で「10歳未満の女児が自宅で意識を失い、救急搬送したが死亡され、その後の検査でコロナ陽性が判明した」との、悲しい報道がありました。

そのような中、一昨日に政府から5月上旬を目途に感染症法の2類から5類へと変更予定との報道がありましたが、現在の千葉県は、先週の時点で確保病床使用率が63パーセントを超え、ステージ2からステージ3へと移行されてしまったところです。

さて、12月12日に千教連から通知された、今週金曜日の第2回教育長・教育委員研修会案内では、当時これほど死者数が増え、確保病床が少なくなるという想定はなかったことと考えます。ただ、開催案内では「過去10日以内に発熱や風邪症状等のあった方は参加をお控えください」という注意書きもありました。

こうした点を踏まえ、27日に流山「スターツおおたかの森ホール」での「千葉県

市町村教育委員会連絡協議会」主催の教育長・教育委員研修会への参加を、栄町教育委員会として自粛してまいりたいと考えます。折角、公用車を借り受け、教育総務課芝野副主査が送迎してくれるという費用弁償対応でしたが、残念であります。参加を希望されていた石川委員さん、いかがでしょうか。定例会閉会后に、ご意見を賜り、共通理解できれば幸いです。

因みに、今月14日には、家族の発熱症状が出た時のために、医薬品としてのコロナ抗原検査キットを購入したところであります。そして何より、こんな教育長でも公人として感染すると感染の度に新聞に載ってしまうので、これまで必死で発熱を堪えていた3年間でございますし、また来月19日リバーサイドさかえドラムマラソンも控え、平成30年以来5年ぶりに走ろうと決意したものですから、少なくとも当日まで発熱を堪え、感染対策を継続していかねばと考えております。

委員の皆様におかれましても「5回目のワクチン接種をした尾身会長でさえも感染」またコロナ感染の「後遺症が厄介」との報道もありますので、ご自愛なさってください。

それでは本日、1月の定例会を開催いたします。報告2件となります。よろしくお願いいたします。以上でございます。

大久保委員：

8日の成人式、久しぶりに参加いたしまして、大変落ち着いた成人式で変な人も入って来ず、大変感動いたしました。実行委員と打合せを非常によくやっていたということで、これからもあのような成人式だと本当によいな、と思いました。以上です。

石川委員：

私も8日、成人式に伺いました。教育長が仰っていたように、柏木先生の恩師のお話がとてもよかったな、と思いました。

1月22日、ふれあいプラザさかえにて早稲田大学文学学術員城倉教授を講師としてお迎えして、栄町文化財講演会が開催されました。早稲田大学の平成26年度実施の、龍角寺本堂跡の測量、レーダー探査調査に続いて、27年度の発掘調査で出土した希少な埴仏について、調査結果をわかりやすくお話してくださいました。埴仏は丁度一年前にふれあいプラザさかえのロビーにて初公開され、その美しさに誰もが感動したであろうと容易く想像できる、古代を知る上でも大変貴重な埴仏ですが、その発掘の様子、その後の慎重な処理により、現代に蘇り研究され解明され、そして今後の展望などロマンあふれる内容のご講演でした。以上です。

濱田委員：

私も1月8日、成人式に参列しました。実行委員の方々の進行の下、とても落ち着いた式だったと思いました。下総栄太鼓の迫力がある演奏も、私初めて聞いたのですが、楽しませてもらいました。

昨日（1月24日）ですが、まちコミで嬉しいお知らせが届きました。社会を明るくする運動、千葉県作文コンテスト中学生の部において、「ながら見守り隊への感謝」というテーマで、栄中一年生の生徒が千葉県保護司会連合会長賞を受賞されたとのこと。私も作文を読ませていただきました。私自身もながら見守り隊の活動は保護者だけでなく、栄町全体で子供たちを見守るととても素晴らしい活動だと思います。私自身、子供たちの登下校の時は外に出るようにしているんですけども、子供たちが卒業してからも、ながら見守り隊のようにさりげなく町内の子供たちを見守っていききたいなと思いましたし、今後も見守りの輪が広がってくれるとよいなと思いました。以上です。

中島委員：

私も成人式に参加して、皆さんと同様の印象を受けました。その後のマスコミの報道などをみておきますと、騒がしいところはあまりなかったようで、あの年代特有の特徴かなと。来年また騒ぎになるかもわかりませんので、注意をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

報告第1号 第41回書道展の後援承認について

報告第2号 いにしえの道をたどって～安食からなりた道を歩こう～の後援承認について

磯岡教育総務課長：

それでは報告第1号についてご説明いたします。

令和4年12月12日付けで飯嶋千曲氏から「第41回書道展」について後援承認申請がありました。行事の趣旨は、書を通じて地域の親睦を図るものです。会場及び日程は、ふれあいプラザさかえ大会議室にて、令和5年3月25日、26日に行われるものです。行事の後援者として、栄町教育委員会、産経新聞社を予定しております。

続きまして報告第2号についてご説明いたします。

令和4年12月18日付けで、のら里くら里健康ウォーキングの会代表中澤一夫氏から「いにしえの道をたどって～安食からなりた道を歩こう～」について後援承認申

請がありました。

行事の趣旨は、昔、成田山詣で賑わった安食から成田山新勝寺までの旧なりた道をたどり、当時の街道に思いを馳せ、街道の魅力をPRするとともに、参加者の健康づくりと相互の親睦、地域の活性化を図るものです。会場及び日程は、JR安食駅北口9時出発で、白山（百庚申ひゃっこうしん）、酒直（多宝院・素羽鷹神社）、浅間山古墳などをめぐり成田山新勝寺本堂前12時30分をゴールとし、令和5年2月25日に行われるものです。参加予定者数及び参加の方式は、50名でふれあいプラザさかえ窓口に応答書を提出するものです。行事の後援者として、栄町教育委員会を予定しております。

以上報告第1号及び報告第2号につきましては、共催後援規程の趣旨に沿ったものでありますことから、教育長が専決処分したものでございます。以上よろしくお願いいたします。

6 各課等の報告について

磯岡教育総務課長：

教育総務課からは、2月の行事予定表をご覧ください。2月8日には勉強会を予定しております。議案もかなりあるかと思しますので、その日は勉強会を行う予定でございます。22日、150周年記念式典が安食小学校の方でございますが、そのあと、総合教育会議を行いたいと考えております。町長の日程が、2月、3月と埋まっております。この日程が何とか取れたものですから、栄町教育振興基本計画について第5次総合計画と併せて作成して行きたいという旨の内容で行う予定でございます。それが終わってから、15時目安から教育委員会会議定例会を行いたいと考えております。

それと、行事予定表には書かれておりませんが、卒業式と入学式につきまして、日程の方を述べさせていただきます。今までコロナ感染拡大防止によりまして、令和元年度の卒業式から来賓の方の招待を行っていませんでしたが、この3月の卒業式から少しずつ日常を取り戻しながら行事を行っていくというところで、委員の皆さまの出席をお願いする予定でございます。日程ですが、栄中学校の卒業式が3月10日に予定しております。この日は教育長をはじめ、皆さま委員さんがご出席可能であれば、皆さまの出席を予定しておりますので、よろしく願いいたします。また小学校は4校とも3月17日に予定しております。今までも各学校に一人ずつ行っていただいたようですので、この卒業式から順番を変えながら行っていただければと考えております。ご都合の悪い方は今月中に教育総務課までご連絡いただければと思います。3月17日の予定といたしましては、安食小学校に濱田委員、布鎌小学校に大久保委員、安食台小学校に中島委員、竜角寺台小学校に石川委員という形で予定させていただきます。受付時間等は、追って通知させていただきます。

続きまして入学式ですが、栄中学校が4月10日でございます。こちらも皆さまに出席していただければと考えております。小学校が4校とも4月11日となります。小学校につきましては、先ほどの出席委員から一つずつずらしながら出席をしていただければと考えております。安食小学校に石川委員、布鎌小学校に濱田委員、安食台小学校に大久保委員、竜角寺台小学校に中島委員という形で進めさせていただければと考えております。また、受付時間等は追って通知差し上げますので、日程等今月中によりしくご検討をお願いいたします。教育総務課からは以上でございます。

鳥羽学校教育課長：

学校教育課からです。

新型コロナウイルスの感染状況についてです。1月は、小学校で14名、中学校で6名、児童生徒合計20名が罹患しました。12月は48名の罹患者がいましたので、減少傾向にあると考えております。

令和4年12月22日に県の『新型コロナウイルス感染症 学校における感染対策ガイドライン』の改訂があり、「黙食の見直し」「行事の積極的実施」「登下校時におけるマスク着用の原則不要」などが示され、各校へ通知したところです。

各校においては、感染症対策を十分行っただきながら学校行事等を通常通り実施していただいています。おかげ様で、学校がクラスターとなることなく過ごすことができています。しかし、黙食の見直しなどは、身体的距離の確保などの関係により、十分な実施には至っていない状況です。今後も引き続き十分な対応を行いながら、学びを止めない学校経営が行えるよう支援してまいります。

また、インフルエンザの罹患者についても、見られるようになってきました。昨日まで、小学校1名、中学校2名、計3名の罹患者がありました。新型コロナウイルス対策と並行して、適切に対応していくよう指導しているところです。

次に、教育長からお話がありました新聞記事からです。1月17日の読売新聞の25面の千葉版に「図書購入費県内でも差 栄町「ICT環境整備優先」という記事が掲載されました。これは、同じく読売新聞の12月26日の1面と3面の「学校図書館費自治体格差」という記事を受け、千葉支局での追加取材により記事とされたものです。人口や財政規模の異なる、「県庁所在地」の千葉市、「人口10万人規模の市」である印西市、「2万規模の町」である栄町を対象として取材がありました。町では、予算の確保に苦心する理由として「ICT教育の環境整備」をあげましたが、これは全国紙の中でも、「調査でも複数の自治体が『交付税を図書費より優先度の高いICT関連経費に充てている』などと明かした。」とあるように、全国的な課題になっているものと考えています。

町内各小中学校の蔵書ですが、文部科学省の定めた学校図書館図書標準の基準の100%を超えている学校が4校。残りの1校についても、今年度中に臨時交付金を活用し、100%とする見込みとなっています。今後、廃棄図書の入れ替えなどを行い

ながら、適切な図書室運営を行っていきたいと考えているところです。

最後に、濱田委員からご紹介のありました「栄町ながら見守り隊」についてです。以前ご紹介させていただきましたが、第72回“社会を明るくする運動”千葉県作文コンテスト 中学生の部 で栄町立栄中学校1年生甲斐みのりさんが「ながら見守り隊への感謝」という作文で「千葉県保護司会連合会長賞」を受賞されました。先日、作文を、マチコミメールで、栄町ながら見守り隊の皆様へ配信するとともに、町ホームページにも掲載しました。「栄町ながら見守り隊」で検索いただき、ぜひご一読願います。これにより、今後も引き続き、ながら見守りの一層の推進が図られ、児童生徒の登下校時における安全確保につながるよう、ご協力をお願いしていきたいと考えております。学校教育課からは以上です。

稲葉生涯学習課長：

まず、2月事業案内ですが、安食小放課後ふれあい教室が2日及び16日に安食小体育館で行われます。1年生から3年生まで19名が参加予定となっております。

いきいき塾さかえ「親子プログラミング教室」がふれあいプラザさかえ会議室(2)で2日に行われます。こちらは親子で8組の申し込みとなっております。

第5回I I K S、合同家庭教育学級が4日にふれあいプラザさかえ大会議室で行われます。お手元にチラシを配布してございます。今回は「日常生活から防災を考える～親子で高める防災意識～」と題して日本防災士会による講演を行います。教育委員の皆さんにおきましては事前申し込みは不要ですので、参加できる方は当日10時に会場にお越しください。

続きまして、スポーツ推進員による軽スポーツ教室が11日に安食小体育館で行われます。ピククルボール、ボッチャを予定しています。

竜角寺台小地域学校協働本部会議が16日に竜角寺台小で行われます。

リバーサイドさかえドラムマラソンが19日にふれあいプラザさかえ全館を使って行われます。この日は一般の利用は休館扱いとなります。

図書室の蔵書点検を19日から24日に行い、その間、図書室は休室となります。返却本はふれあいプラザさかえ窓口でお預かりするような形で対応いたします。

のら里くら里健康ウォーキングの会による「いにしへの道をたどって、なりた道を歩こう」が25日に安食駅集合で成田山新勝寺まで行われます。文化財班職員が途中でのガイド等を行います。

図書室ボランティアによるおはなし会がキッズランドで25日に行われます。

続きまして、図書室購入図書(1月分)についてですが、一般書39冊、児童書22冊となります。先日芥川賞、直木賞が発表になりましたので、そちらの方の受賞本も、今回とは別に発注依頼し、蔵書とする予定でございます。

連絡事項ですが、令和5年成人式が1月8日に行われました。委員の皆様もご出席いただき、ありがとうございました。

出席者数ですが116名（男性55名、女性61名）で対象者172名ですので、参加率67.4%となりました。

リバーサイドさかえドラムマラソンが2月19日に行われます。委員の皆様へのご案内状を本日配布させていただきました。駐車券、駐車場の案内も同封してございます。なお、申込者数が2,308名で目標3,000名に対し、76.9%という状況です。ちなみに、10月の白井梨マラソンが申込み2,107名で目標値に対し70.2%、11月の成田ポップランが2,444名で目標値に対し48.9%でした。他の市町村を見ても70%っていないところが多いみたいです。まだコロナの状況を見て、ランナーの方も様子をみながらという形の参加となっているようです。生涯学習課からは以上です。

由井給食センター施設長：

給食センターより報告いたします。環境衛生につきまして、今年度に入りましてインフルエンザ、コロナウイルス感染症、ノロウイルス等の感染症の拡大発生が報道されていますけれども、給食センターでは調理員1名がコロナウイルスに感染したほか、他の職員、食材納入業者、職員共に感染がなく、支障なく業務が実施できておりますので、今後も留意し環境衛生の徹底に努めてまいりたいと思います。

献立表をご覧ください。2月は19回給食を提供いたします。2月の給食では、下段に書かせていただきました。各小学校の6年生が考えた献立を提供いたします。2月6日は安食台小学校6年1組1班、2月7日は安食小学校6年1組1班、2月24日は安食小学校6年2組3班、2月28日は布鎌小学校6年1組3班が考えた献立が特に給食に適しておりましたので、選定し提供することといたしました。特別メニューとしましては、2月3日が節分ですので黒糖で味付けをした乾燥大豆を提供いたします。14日はバレンタインデーですので、チョコプリンを提供いたします。22日は安食小学校開校150周年を祝しまして、赤飯等のお祝い給食といたします。給食センターからは以上です。

《質疑》

石川委員：

学校図書関係で、私も新聞記事を読みました。それで初めて、1校当たりの学級数に応じた計算式があって、例えば小学校で1学年1学級トータル6学級なら5,080冊、こういった標準があるということを知ったんですけれども、先ほど課長の方からのご説明で4校は達していると。問題なのは、その蔵書数100%を保つために古い役に立たないような資料とか、色が変わってしまっているものとか、そういったはっきり言って害になるような本が捨てられずにいたりするということを問題提起しているように読んだんですけれども、結局整理するのは司書さんになるので、司書を確保

しなければいけないとか色々な問題点が挙げられていたと思うんですけれども、栄町の蔵書数はよくわかりましたけれども、内容的にはどういったものなのかわかる範囲で教えていただきたいと思います。

藤ヶ崎教育長：

全国版の中には熊本市の様子が出てましたよね。熊本市はあからさまに、30年も前の年鑑ですよ、そういうのは段ボール箱に入れて廃棄はしないで、1冊、2冊は数えろよとそういう教育委員会の指導があったと。それはやっぱりまずいですよねということで、うちの方ではそこまでは廃棄するなどは言えないと思います。ただ、やはり本の冊数というのはある程度大事であります。成田の教育委員会の時は指導主事で図書館担当をやっていたんですけれども、標準冊数を超えるのが文科省の予算獲得のあれなんですよ。文科省の会議なんかに行きますと、必ずこういう予算を出していますよ、地方交付税として出しています。それが道路とかに使われないように地元に戻ったら言ってくださいよ。校長先生方お願いしますと言ってくれるんですが、ただし、なかなかそれは難しいところではありまして、校長会の要望等で地方交付税に見合ったものに支出していただきという要望を毎年出してはいるんですが、それが喫緊の課題である道路の補修に回ったりするのが、全国的な課題ではありますので、我々校長会としてもそういうのではなくて、これは図書費なんだと、ひも付きのものとしてくれと毎年言っているんですが、なかなか文科省もそこまではできないと。そういうことで私からその辺なんですけれども、安食小学校は私がいる時からずっと標準冊数には達しておりませんでした。昨年、一昨年に鳥羽課長がかなり増額予算で組んでくれたおかげで、ある程度冊数は増えては来ているんですけれども。

石川委員：

それはきちんと、10年を経たら更新するとか破棄するとかっていう、そういうのをきっちり司書さんがやっていたので、数的に少なかったとか、そういうことではないんですか。

藤ヶ崎教育長：

それはわかりませんが、古い本は沢山ありますので。子供たちが本の取り方も悪いんですけれども、やっぱり上を引っ張ると切れちゃいますから。それが切れないようカバーリングするんですけれども、そういった図書というのものもあると思うんですけれども、子供たちは古い本は本当に触らないと。新しいものでないと触らないと。古いものは学級文庫として、それぞれの学級の前とか教室の中に置いたりするんですけれども、それについて冊数の台帳に入れている学校もあるし、入れていない学校もあるとは思いますが。何とも言えないところですね。令和4年度はライオンズクラブさんから各校10万円の図書費をいただきましたので、それでだいぶ違うとは思

んですけれども、今回の読売新聞は令和3年度の予算についての調査でしたので。

石川委員：

国の名前が変わったり、どんどん変わっていることが世の中沢山あると思うんですけれども、確かにその方がおっしゃるのも、古い資料では誤った知識を与える可能性があり、適切に廃棄していくべきだと。でも蔵書数というのが決まっているので、それを守るために捨てられないでいたりする場所があるということを指摘されていると、私はそちらと司書の設置について、そうなのだなど、司書不足というのが整理できないということにつながっているのかなと思ったものですから、お伺いしました。

藤ヶ崎教育長：

司書さんも千葉県で市川市が昔から進んでいまして、市川市は本当に司書さんを大事にしていたんですけれども、それに続きまして成田市なんかも平成の始めのころから入って来ているのですが、いずれも正規職員ではないんです。これが大変問題だと思います。高等学校は正規の司書がおりますが、会計年度任用職員、非常勤で司書さんをやってもらっているのが実情です。栄町でもそうです。学校図書館法では、12学級以上の学校には司書教諭を置かなければならないと決まっていますのですが、財務省でお金を出してくれていませんので、その司書教諭というのは担任をやりながらやっている。そうしますと、貸出しとか図書整理とかあるいはお金を10万円もらってもこの本を買うという選書とかができない訳ですので、そこに地方交付税でも司書なんかにもくれていますので、それでも学校で、うちの方は週2日なんですけれども、非常勤で出しているということですからね。その司書さんも正規の司書さんとはまたちょっと違うのかなという気がします。ただ、いるだけでも、教員としては助かりますので。夏休みみんなで廃刊の整理をしたりはするんですけれども、そういったところで栄町も曲がりなりにも週2日は出しているというところでもありますね。お答えになっていないかもしれないんですけれども。

石川委員：

いえいえ、ありがとうございます。ICTを進めていくのと同じスタンスで、という言いすぎかもしれませんが、やはり学校に本をというのは、やっていかなければいけないことだと思っております。

もう1点、「社会を明るくする運動作文コンテスト」についてです。私も担当保護司として、昨年末の県の表彰式の方に出席させていただきました。それで町の表彰式が事情があって2月2日に延期しております。2月号の広報さかえには県の表彰式の時のお写真と文言が掲載される予定であります。以上です。

大久保委員：

1週間か2週間前の朝日新聞をみていたら、小学生で例えば栄町の小学生で家に帰った時に、何パーセントくらい家に人がいるかどうかということが知りたいです。お忙しいでしょうから慌てませんので。理由は全国的にわいせつ、性犯罪で主に小学生だと思いますけれども、後をつけてきて、子供が家に入ったのを狙って入って、恐ろしいことをするという、それがあるということで。そういう被害に遭っている子が全国で結構いるということで。私もかつてそれに近いような、部活の女の子が襲われて危なかったんですけれども、何とか無事だったんですけれども、その恐怖心というのは、ずっと一生つながるんですよ。ですから、表に出ない、もしかしたら警察にも言わないで事件にしないで親がもみ消してしまう、逆にね。その子の将来のことを考えてとなってということも、もしかしたらあるかもしれない。一番よいのは被害に遭った子が立ち直るようにしなきゃいけないんですが、一番悪いのはそういう人間が必ずいるということで、減ることはないというようなことが心理学者の言葉として書いてありましたので、これから特に小学生が帰って、家に誰もいないという子が60%ぐらいいるんじゃないかと。もし栄町で小学生で家に帰った時に、今は共働きが多いですから、そういう状況もこれから心配だなと思いました。対策として書いてあったのは、いなくても「ただいま」と大きい声を必ずかける。そうすると犯人は家に人がいるからまずいやと、あと自分が入ったら必ず鍵をかける。宅急便などもできれば出ない方がよいと。本当にその子を守るために書いてありましたので、忙しいと思いますけれども、もし町や安食地域でわかれば。田舎の方はだいたい年寄りとかがいることが多いですけれども、団地などで犯人は下見もしているという記事もあったので。寒いときから暖かくなる2月から3月に多いということがあるので、私も経験しておりますけれども、なぜか春になる前ですか。夏になってしまう前よりもむしろ季節の変わり目というか、そういう時に犯罪が多いみたいですので、絶対そういうことがないようにしたいんですけれども。ですから見守り隊とかはかなりよいと思いますけれども、十分に気を付けていただきたいなと思います。以上です。

7 その他

特になし

8 教育長閉会宣言

以上，会議の顛末を記載して，相違ないことを証するため，ここに署名する。

教 育 長 藤ヶ崎 功

会議録署名委員 石川 京子